

平成24年度 特別活動部 活動報告

1 研究テーマ

お互いを認め合える学級づくり ～考えを伝え合う話し合い活動を通して～

2 組織

顧問：二平 芳信（燕市立燕東小学校） 部長：石川はなえ（弥彦村立弥彦小学校）

部員数 12名

3 活動の概要

(1) 総会、第1回研究部会

① 実施期日・会場 4月18日（水） 弥彦村立弥彦小学校

② 内容

ア 特別活動部の組織づくり イ 研究テーマの決定

ウ 活動計画の作成

(2) 第2回研究部会

① 実施期日・会場 6月6日（水） 弥彦村立弥彦小学校

② 内容

ア 部員一人一人が、研究テーマに沿って行った学級活動や児童会活動などの実践を、A4版1枚程度のレポートにして、紹介し合う。

イ 紹介された実践の良い点、改善点等について意見交換することで、今後の自分の実践に生かせる情報を持ち帰る。

(3) 第3回研究部会

① 実施期日・会場 11月28日（水） 燕市立吉田小学校

② 内容

ア 部員による公開授業と協議会

〔授業者〕 幸田 香子 教諭（燕市立吉田小学校）

〔指導者〕 小林 靖直 様（燕市教育委員会指導主事）

イ 授業の概要

（活動名） 「うーんとあいさつ もっと団結 さらにスマイル 6年3組」

（ねらい）

・卒業式までにもっと学級目標に近づけるような作戦を考え、実践していこうとする意欲をもつことができる。

（提案性）

・児童全員が当事者意識をもって話し合い活動に参加できるよう、事前アンケートをとり学級としての問題点を洗い出しておく。

・一人一人の考えが書かれた「意見一覧表」を全員に配付する。これにより、友達の考えが分かり、質問・反対・賛同等の意見が活発に交わされることを期待する。

・友達と席を立って自由に意見交換をするフリータイムを設定する。これにより、自分の考えに自信をもったり新たな考えを発見したりさせたい。

ウ 協議会の概要（略）

4 成果と課題（○成果 ●課題）

○ 学級会は子どもが主体となって進めることに教育的意義がある。毎年の実践でそれが浸透し、今回は教師の支援が必要な場面だけに行われ、大変よかった。

○ フリータイム後に意見交換が活発になった。フリータイムは、話し合いのルールが守られている場合は大変有効である。

● 最終的に何を目指したらよいかが決まらなかった。多数決を使って決定事項を明確にし、児童に「みんなで決めた」という認識をもたせるようにさせる必要がある。